

【青梅市教育委員会】

校務D X計画

1 F A X・押印の原則廃止に向けた取り組み

F A Xについては、業者からの見積もり徴取や学校と市教委間の勤務月報等の送受信等に多用されている。このうち勤務月報等については、従来の手書きに限らずパソコン上での入力によることも可能とし、メールによる提出ができるように改善することを検討する。見積書徴取についても、電子データでの提出を可とし、業者に周知する。

いずれの場合も、市の会計・契約規則上、押印を省略できないケースが存在するため、やむを得ないものについては引き続き紙と押印による対応を継続する。

2 校務支援システムへの名簿情報入力作業等の改善

現在利用しているシステムは転入生・転校生の情報を電子データ取り込みにより行っているため、ほとんどの情報は手入力が必要である。

3 クラウド環境を活用した校務D Xの積極的な推進

教職員および児童・生徒に Google アカウントを発行し、校内および自宅等で使用可能になっている。教職員が授業で使用する教材・資料について、学校内にいなくても作成が可能であり、柔軟な働き方の一助となっている。

4 次世代の校務システム導入に向けた検討

今後、東京都の共同調達に参加し導入に向けた検討を進める予定である。